

第50回通常総代会

総代から質問をいただき回答いたしました。

【質問】経営内容の報告で「努力します」「拡大します」「周知します」などの言葉をよく話されていますが、曖昧なので具体的な数字を掲げて欲しい。

【回答】例えば、今年度を例に出すと、50周年記念事業の成功を目指し1年前から現場レベルでの検討を始めました。その検討の結果、2025年度は史上最大の5,000名という組合員拡大の予算を立てて、全員で取り組んでいます。また供給高においては2024年度比110%の28億5千万円を予算にしています。現時点、25年度春月間は前年比240%の拡大実績で推移しており、供給高も前年比106.3%まで上げられています。登録組合員数、配布枚数、回収枚数、利用単価、供給高、全てにおいてこれまでにない勢いで右肩上がりとなっています。また、広報においてはSNSやWEB広告、50周年記念事業を広めるためのチラシや記念品など、約4,000万円を予算化して取り組んでいます。

【質問】カーボンニュートラルの財源に関する確認書が6月23日頃から配布とのことだが、他県に住む母から、カーボンニュートラルの拠出に関する確認書がグリーンコープから届いたと相談を受けた。拠出を希望しない組合員のみ提出するようになっていたため、拠出する人が提出するようにしたほうが良いのではないかと思います。かごしまの意思確認について教えてください。

【回答】組合員に拠出の意思確認の方法は各県のグリーンコープで検討されています。かごしま理事会でも1年くらいかけて検討を続け、組合員の意思をしっかりと受け取るために、「拠出する」「拠出しない」にチェックする確認書となっています。確認書は組合員から提出があるまで3回配布となっています。それでも確認がとれない組合には「拠出に同意とさせていただきます」という文言を加えて拠出いただく予定です。提出後でも、いつでも変更は可能ですので、所属のセンターに連絡をお願いします。



【質問】広告宣伝などに関して、もう少し工夫が必要に感じる。良い商品や運動をやっている、グリーンコープを知らない人が多い。例えば、カタログと一緒に配達員の手書きのプロフィールを載せたり、配達員からも商品のアピールをするなど、組合員と仲良くなる仕組みを作り、未組合員を紹介して貰える関係性を作れるように、検討して欲しい。

【回答】広告宣伝や組合員との関係作りの工夫など、貴重なご意見をありがとうございます。言われます通り、グリーンコープはまだまだ周知されていないことが多いと感じています。今年50周年で組合員も増えておりますので、もっと積極的に能動的にグリーンコープを地域に広げる手段・戦略を検討していきます。

臨時号



グリーンコープかごしま生活協同組合機関紙 2025年7月28日発行

元気くんからのおたより 第50回 通常総代会 開催報告



来賓あいさつ 揚野支部長
(グリーンクラブ宮崎・鹿児島支部)



今吉理事

6月13日(金)第50回通常総代会を開催しました。総代200名のうち、議長2名を除く実出席69名、委任出席3名、書面出席118名が議決に参加しました。24年度の活動・事業・決算報告、25年度の活動・事業方針と予算をはじめとして、全ての議案が賛成多数で承認されました。加えて「託送料金訴訟の最高裁への上告」について、グリーンコープが何を問題と考え、なぜ裁判という手段に訴えたのか、横山理事長より特別報告を行いました。共生の時代号外にも詳しく載せていますので、ぜひお手元に残して、じっくりお目通しいただきたいと思います。グリーンコープかごしまは今年、設立50周年を迎えました。来場された総代へ、歴代の理事長・専務のインタビューなどを掲載した50周年記念誌と、記念品をお渡ししました。



採決の様子

理事会から記念アピールを行い、これまで関わってこられた方々の思いや軌跡を念頭に置きながら、今を大切に、真っすぐに楽しく組合員活動に向き合っていくことを宣言しました。また、今年度からの新しい試みとして「総代通信」を発行し、その第1号を配布しました。グリーンコープ運動を幅広く伝えるとともに、総代からの意見や要望を理事会に届けるためのツールとしても活用いただきたいと思います。最後に、支部・専門委員長と副理事長を歴任し、12年の任期を終えた別所理恵子さんから退任の挨拶がありました。グリーンコープへの温かい気持ちに、この思いや様々な運動をずっと繋いでいけるように日々の活動や課題に取り組んでいこうと改めて思いました。組合員の皆さん、25年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

GREENおすすめ委員長 今吉 千賀



総代会参加者への記念品
(50周年記念誌・総代通信
・タンブラー・エコバッグ)

GCびん牛乳への
要望をいただき
ました



【質問】びん牛乳が重くて注ぎにくい、びんが滑りやすく落としてしまうため、500cc びんを開発してほしい。

【回答】500ccのびん牛乳については、びん牛乳工場「グリーンコープミルク」を建設する際に、グリーンコープ共同体で検討いたしました。少量企画の要望は以前からあり、この機会にぜひ実現できたらと思いましたが、現在使用している900cc用の充填機をそのまま使うことはできず、500cc用の新たな充填設備の建設に数億円かかるため、残念ながら現時点では難しいとの結論になりました。グリーンコープの循環型のびん牛乳事業が軌道にのり、多額の投資が可能となった場合、実現できたらと考えています。

【質問】びん牛乳の液だれが気になるため改良してほしい。

【回答】びん牛乳の液だれについてですが、現在、共同体理事会にて、以前のような「液だれ防止キャップ」を作ることは可能かどうか調べているところです。かごしま理事会でも、液だれについて意見交換し、共同体へ要望を出すかどうか検討いたしますので、お時間をいただけたらと思います。

